電子カルテを超える細やかさを、AIで。

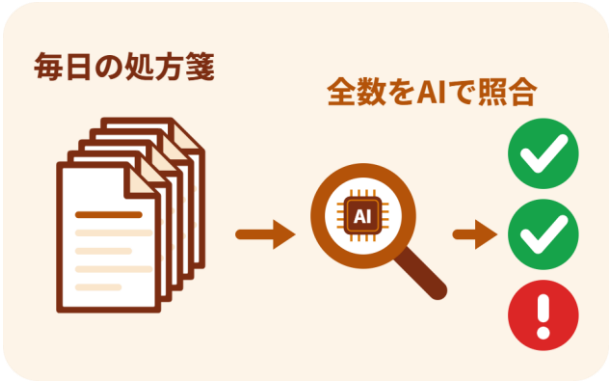
AI処方セーフティナビ「たかのめ」

開発中

DynaxT-Medical

株式会社DynaxT

その禁忌チェック、すべてに行き届いていますか？



AIの力で、薬の処方を全数、
より細やかに確認します。

たかのめが支えるのは「処方監査」

診察・処方オーダ ▶ 処方箋を受信 ▶ **ここをAIで支援 処方監査** ▶ 調剤 ▶ 服薬指導・薬剤交付

全数チェックの壁

処方箋（1日あたり）
平均400枚
多いところでは数千枚

1人が確認できるのは
40〜100枚
人手もコストも追いつかない

電子カルテの標準チェック
添付文書のみ
メーカーのマニュアルは対象外

たかのめの3つの特長

特長1
柔軟な運用
マニュアル・院内ルール・
経験知まで参照

特長2
独自のハルシネーション対策
もっともらしい誤りを
弊社独自の研究で抑え込む

特長3
あいまいなまま通さない
怪しい処方は
人の確認に回す

まずは30分のオンライン説明会から。
貴院の院内ルールを、AIがどう読み取るかをご説明します。

TEL 087-887-8881
medical-all@dynaxt.co.jp
https://dynaxt.co.jp

参照できる情報の深さが違う

	電子カルテの禁忌チェック	たかのめ
チェック方式	PMDA情報を元にしたルールベース	**AIが資料を読み、処方ごとに照合**
参照する情報	添付文書のみ	**添付文書＋メーカーのマニュアル・院内ルール・経験知**
カスタマイズ	ルールを人が作り込み、管理する	**マニュアルや院内ルールを読み込ませるだけ**
患者ごとの条件	—	**年齢・体重・併用薬まで照合**

患者さんごとに、細かく照合する

患者ごとの条件
年齢・体重・併用薬

＋

現場の知識
院内ルール・マニュアル

▶

AIが照合
添付文書に載らない禁忌まで確認

見逃しを防ぐ設計

STEP 1
AIが全数をチェック

▶

STEP 2
怪しい処方を検出

▶

STEP 3
有資格者が判断

安心して使えるしくみ

最終判断は有資格者
AIは提案するだけ

運用を変えずに導入
Web画面・電子カルテ連携

院内ルールに合わせる
病院ごとの資料を
読み込ませる

院内で完結
患者情報を
病院の外に出さない

ご留意事項　AIは提案（サジェスト）するだけで、最終的な判断は有資格者が行います。本システムは、プログラム医療機器ではありません。本システムは現在開発中です。機能・仕様は変更となる場合があります。処方箋枚数・確認枚数は一般的な目安です。

株式会社DynaxT 新技術商品開発部　医療グループ
TEL 087-887-8881　medical-all@dynaxt.co.jp
https://dynaxt.co.jp